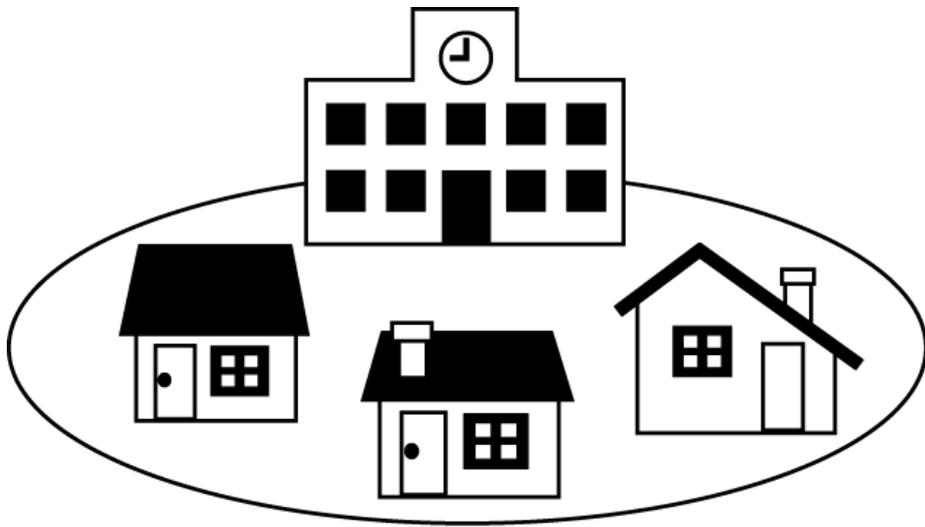


令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価
報 告 書

(令和2年度事業対象)



糸満市教育委員会

目 次

- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p1
- 2 点検評価の対象及び方法・・・・・・・・・・・・・・・・ p2～3
- 3 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p4～6
- 4 令和2年度 教育事務点検評価 対象事業体系別整理表・・・・・・・・ p7～8
- 5 教育に関する事務の点検評価について
教育施策事務点検評価シート・・・・・・・・・・・・・・・・ p9～32
- 6 学識経験者の知見の活用・・・・・・・・・・・・・・・・ p33～37

1. はじめに

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

糸満市教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにして、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を推進するため、令和2年度に行った教育に関する主要な施策の取組状況について、糸満市教育事務点検評価員の意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめました。こうした点検及び評価の結果を教育行政の充実・推進に活かしてまいりたいと存じますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年12月

糸満市教育委員会

| | |
|------|--------|
| 教育委員 | 与那嶺 政裕 |
| 教育委員 | 山城 安子 |
| 教育委員 | 長嶺 美香 |
| 教育委員 | 玉城 義一 |
| 教育長 | 幸地 政行 |

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検評価の対象及び方法

令和2年度教育委員会の活動状況として、教育委員会議の開催状況、及び令和2年度教育主要施策の中から抽出した重点的な事務事業（24事務事業）を対象としました。

点検評価にあたりましては、事業ごとに点検評価シートを作成し、評価基準により必要性、効率性、及び有効性の面から評価を試み、総合評価を行ったうえで、課題と今後の展開を検討しました。その後、学識経験者の知見の活用を実施し、3人の学識経験者の意見を頂きました。

評価基準等については、次のとおりです。

評価基準

- ・ 必要性：施策目的に対し、市民ニーズや社会情勢等の変化を踏まえ、その必要性について考察する。
- ・ 効率性：費用対効果を検証し、より効率的な運営について考察する。
- ・ 有効性：施策の実績から当初の目的に対する成果について考察する。

※必要性、効率性、有効性とも5点～1点で配点する。

総合評価

必要性、効率性、有効性それぞれの配点を合計し、以下のとおり総合評価とする。

総合評価は次の5段階とする

- A 評価（14点以上）：計画どおり実施することができた／目標やねらいに沿った成果が現れている。
- B 評価（11点～13点）：ほぼ計画どおり実施することができた／概ね成果が上がっている。
- C 評価（8点～10点）：計画どおりではなかったが、事業目的を達成した／事業の執行等に改善の余地がある。
- D 評価（5点～7点）：計画より遅れている。あるいは未実施である／事業の見直しを含めた検討が必要である。
- E 評価（4点以下）：事業の廃止を検討する。

今後の方向性

総合評価より、当該施策の今後の方向性について次の区分により示す。

| 方向性 | 内 容 |
|-----|---------------------------|
| 拡 充 | 事業の拡大・充実を目指す。 |
| 継 続 | 事業を現状で継続する。 |
| 改 善 | 事業の継続を行うが、対応すべき改善対策を検討する。 |
| 縮 小 | 事業を縮小して継続する。 |
| その他 | 事業の終了、一時休止、廃止等の表記をする。 |

課題と今後の展開

総合評価と今後の方向性から、課題改善に向けての次年度以降の展開を検討する。

3. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催

教育委員会会議については、原則として毎月第4木曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。令和2年度においては、次のとおり開催しました。

| | | |
|-------------------|--|----------------------|
| 第6回 (臨時会) | | 令和2年4月6日 (月) |
| 議案 | 第22号 糸満市立小中学校の臨時休校について | |
| 第7回 (臨時会) | | 令和2年4月15日 (水) |
| 議案 | 第23号 糸満市立小中学校の臨時休校の延長について | |
| 第8回 (定例会) | | 令和2年4月23日 (木) |
| 議案 | 第24号 学校医を委嘱することについて | |
| | 第25号 学校薬剤師を委嘱することについて | |
| | 第26号 糸満市小中一貫教育推進委員会設置要綱の制定について | |
| 第9回 (臨時会) | | 令和2年4月28日 (火) |
| 議案 | 第27号 新型コロナウイルスの感染防止に係る糸満市立小中学校の臨時休校決定の委任について | |
| 第10回 (臨時会) | | 令和2年5月13日 (水) |
| 議案 | 第28号 糸満市立小中学校教職員(管理職)の人事異動の内申について(非公開) | |
| 第11回 (定例会) | | 令和2年5月27日 (水) |
| 議案 | 第29号 糸満市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について | |
| | 第30号 糸満市文化財保存活用協議会設置要綱の制定について | |
| | 第31号 糸満市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会設置要綱の制定について | |
| | 第32号 糸満市学校運営協議会規則の全部改正について | |
| | 第33号 令和2年度 糸満市一般会計補正予算(補正第3号)に関する意見の申出について | |
| | 報告 5 令和2年度 糸満市一般会計補正予算(補正第2号)に関する意見の申出について | |
| 第12回 (定例会) | | 令和2年6月25日 (木) |
| 議案 | 第34号 糸満市教育委員会教育長の辞職の同意について | |
| | 第35号 糸満市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について | |
| | 第36号 糸満市教育長職務代理者の事務の委任等に関する規程の制定について | |
| | 報告 6 「糸満市立中央図書館窓口等運営業務優先契約者結果・次点事業者」の報告 | |
| | 報告 7 移動図書館巡回時間(真壁小学校)の変更について | |
| 第13回 (臨時会) | | 令和2年7月20日 (月) |
| 議案 | 第37号 教育委員会職員の人事異動について(非公開) | |
| | 報告 8 糸満市教育委員職員の退職について | |
| | 報告 9 学校において新型コロナウイルス感染症患者が発生時の対応について | |
| 第14回 (定例会) | | 令和2年7月30日 (木) |
| 議案 | 第38号 糸満市立学校管理規則の一部改正について | |
| | 第39号 糸満市立高嶺小中一貫教育校準備委員会設置要綱の制定について | |
| | 第40号 令和3年度使用の小学校教科用図書の採択案について | |
| | 第41号 令和3年度使用の中学校教科用図書の採択案について | |
| | 第42号 令和3年度使用の特別支援学級用図書の採択案について | |
| | 第43号 糸満市学校給食センター運営委員の委嘱について | |
| | 第44号 令和2年度 糸満市一般会計補正予算(補正第4号)に関する意見の申出について | |

| 第15回 (定例会) | | 令和2年8月27日 (木) |
|------------|------|---|
| 議案 | 第45号 | 小学校における部活動中の財物事故に伴う損害賠償について |
| | 第46号 | 糸満市学校管理規則の一部を改正する規則について |
| | 第47号 | 令和2年度 糸満市一般会計補正予算(補正第5号)に関する意見の申出について |
| | 第48号 | 令和2年度 糸満市人材育成事業特別会計補正予算(補正第1号)に関する意見の申出について |
| | 報告 9 | 新型コロナウイルス感染症対策のための糸満市立学校における休業日について |

| 第16回 (定例会) | | 令和2年9月24日 (木) |
|------------|------|---------------------------------------|
| 議案 | 第49号 | 令和2年度 糸満市一般会計補正予算(補正第6号)に関する意見の申出について |
| | 第50号 | 糸満市教育委員会職員の人事異動について(非公開) |

| 第17回 (定例会) | | 令和2年10月22日 (木) |
|------------|-------|------------------------------------|
| 議案 | 第51号 | 教育事務の点検評価(内部評価)の審議について |
| | 第52号 | 令和2年度教育主要施策について |
| | 報告 10 | 糸満市立中央図書館協議会委員の委嘱について |
| | 報告 11 | 教育に関する事務の点検及び評価等の実施に関する要綱の一部改正について |

| 第18回 (定例会) | | 令和2年11月26日 (木) |
|------------|------|---------------------------------------|
| 議案 | 第53号 | 指定管理者の指定について |
| | 第54号 | 南山グスク等保存検討委員会設置要綱の廃止について |
| | 第55号 | 南山グスク等調査指導委員会設置要綱の制定について |
| | 第56号 | 令和2年度 糸満市一般会計補正予算(補正第7号)に関する意見の申出について |
| | 第57号 | 教育事務点検評価書の提出について |
| | 第58号 | 糸満市教育委員会職員の人事異動について(非公開) |

| 第19回 (臨時会) | | 令和2年12月4日 (金) |
|------------|------|-----------------------------------|
| 議案 | 第59号 | 糸満市立小中学校教職員(管理職)の人事異動の内申について(非公開) |

| 第20回 (定例会) | | 令和2年12月25日 (金) |
|------------|-------|------------------------------|
| 議案 | 第60号 | 令和4年度以降の成人式典開催にかかる対象年齢について |
| | 報告 12 | 南山城址等保存調査事業にかかる予算流用について |
| | 報告 13 | 糸満市市制施行50周年記念事業実行委員会設置要綱について |

| 第1回 (定例会) | | 令和3年1月28日 (木) |
|-----------|--|---------------|
| 議案 | | 議案なし |

| 第2回 (臨時会) | | 令和3年2月22日 (月) |
|-----------|-----|-----------------------------------|
| 議案 | 第1号 | 糸満市立小中学校教職員(管理職)の人事異動の内申について(非公開) |

| 第3回 (定例会) | | 令和3年2月25日 (木) |
|-----------|------|--|
| 議案 | 第2号 | 学校薬剤師を委嘱することについて |
| | 第3号 | 糸満市立学校管理規則の一部改正について |
| | 第4号 | 令和2年度糸満市一般会計予算(最終内示)に関する意見の申出について |
| | 第5号 | 令和3年度 糸満市一般会計補正予算(補正第10号)に関する意見の申出について |
| | 報告 1 | 教育委員会委員の任命について |

| 第4回 (臨時会) | | 令和3年3月2日 (火) |
|-----------|-----|-----------------------------------|
| 議案 | 第6号 | 糸満市立小中学校教職員(管理職)の人事異動の内申について(非公開) |

| 第5回 (定例会) | | 令和3年3月25日 (木) |
|-----------|------|--------------------------------------|
| 議案 | 第7号 | 中学校における授業中の財物事故に伴う損害賠償について |
| | 第8号 | 糸満市スポーツ推進審議会委員の委嘱について |
| | 第9号 | 糸満市文化振興委員会委員の委嘱等について |
| | 第10号 | 糸満市史編集委員会委員の委嘱等について |
| | 第11号 | 文化財保護委員の委嘱について |
| | 第12号 | 糸満市社会教育委員の委嘱について |
| | 第13号 | 糸満市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について |
| | 第14号 | 糸満市青少年センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について |
| | 第15号 | 糸満市青少年センター処務規程の一部を改正する訓令について |
| | 第16号 | 糸満市教育委員会職員の人事異動について(非公開) |

(2) 総合教育会議の開催

市長と教育委員会委員による総合教育会議については、令和2年度は次のとおり開催しました。

| 第10回 | | 出席者：市長、教育長、教育委員4人 | 令和3年2月25日 (木) |
|------|-----|--|---------------|
| 協議事項 | (1) | 教育大綱の改定について | |
| | (2) | 「糸満市立学校給食センター基本計画」の精査及び民間活力の活用可能性等検討業務について | |

令和3年度 教育事務点検評価対象事業の体系別整理表(令和2年度教育主要施策より)

| 系 糸 満 市 教 育 主 要 施 策 の 体 系 | | 左の「小項目」の対象となる事業 (R2年度事業) | 所管課 |
|-----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|------|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | |
| I 家庭・地域教育力の醸成 | | | |
| 1 家庭・地域の教育力を育む | | | |
| (1) 家庭における基本的生活習慣の形成 | | | |
| | ① 生活リズムと基本的生活習慣の確立 | | |
| | ② 子どもの接し方、子ども理解を学ぶ機会の促進 | ブックスタート推進事業ほか | 生涯学習 |
| (2) 地域で子どもを育む環境づくり | | | |
| | ① 地域の絆意識の醸成 | | |
| | ② 子ども会等の活動での規範意識や礼儀作法等の習得 | | |
| | ③ 青少年健全育成に向けて関係団体との連携推進 | | |
| | ④ 地域における居場所づくりの推進 | 地域学校協働活動推進事業ほか | 生涯学習 |
| (3) 組織連携の充実 | | | |
| | ① 教育力を高めるために子ども会等の設立と連携支援 | | |
| | ② 糸満市青少年育成市民会議や糸満市学力向上推進協議会の活動推進 | 少年の主張大会ほか | 生涯学習 |
| II 生涯学習社会の形成 | | | |
| 1 生涯学習・社会教育の振興 | | | |
| (1) 生涯学習基盤の整備 | | | |
| | ① 生涯学習支援センター活動の充実と各種講座やサークルの育成 | | |
| | ② 自治公民館、他団体等との連携による生涯学習基盤の充実 | 自治公民館連携推進事業ほか | 生涯学習 |
| | ③ 糸満市青少年センターの機能強化 | | |
| | ④ 青少年・社会教育団体の交流推進及び活動支援 | 社会教育団体支援ほか | 生涯学習 |
| | ⑤ 各自治会における子ども会、青年会等の組織化・ネットワークづくりへの支援 | | |
| | ⑥ 生涯学習拠点施設の整備 | | |
| (2) 学習内容の充実・学習機会の拡充 | | | |
| | ① 読書活動推進講座等の充実とボランティアの育成 | | |
| | ② まちづくり出前講座や生涯学習ボランティアバンクの充実 | | |
| | ③ 舞台発表、作品発表の拡充 | | |
| (3) 図書館活動の充実 | | | |
| | ① 図書資料の整備・充実とレファレンス機能サービスの充実強化 | 図書館資料等充実促進事業ほか | 図書館 |
| | ② 調べ学習、自主的・自発的活動の推進 | | |
| | ③ 移動図書館や他の図書館等との連携による図書の利用促進 | | |
| III 学校教育の充実 | | | |
| 1 教育体制の充実 | | | |
| (1) 豊かな心の育成 | | | |
| | ① 道徳教育の充実 | 適応指導教室、障害児支援ヘルパーほか | 学校教育 |
| | ② 特別活動の充実 | | |
| | ③ 平和教育の推進 | | |
| | ④ キャリア教育の充実 | | |
| | ⑤ 特別支援教育の充実 | 障害児支援ヘルパー事業ほか | 学校教育 |
| | ⑥ 生徒指導の充実 | 適応指導教室、障害児支援ヘルパーほか | 学校教育 |
| | ⑦ 環境教育の充実 | | |
| (2) 確かな学力の定着 | | | |
| | ① 幼稚園教育の充実 | 幼稚園支援事業ほか | 学校教育 |
| | ② 学習指導の工夫改善・充実 | 確かな学力を育むサポート事業ほか | 学校教育 |
| | ③ 「総合的な学習の時間」の充実 | | |
| | ④ 国際理解教育・外国語教育の推進 | 英語指導事業ほか | 学校教育 |
| | ⑤ 情報教育の充実 | 情報教育支援員配置事業ほか | 学校教育 |
| (3) 健やかな体の育成 | | | |
| | ① 健康・安全教育の充実 | 障害児支援ヘルパー事業ほか | 学校教育 |
| | ② 体力・運動能力の向上 | | |
| | ③ 食育の充実 | | |
| (4) 魅力ある学校づくりの推進 | | | |
| | ① 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進 | | |
| | ② 在籍数の平準化 | | |
| | ③ 小中一貫教育導入に向けた検討 | | |

令和3年度 教育事務点検評価対象事業の体系別整理表(令和2年度教育主要施策より)

| 系 満 市 教 育 主 要 施 策 の 体 系 | | 左の「小項目」の対象となる事業 (R2年度事業) | 所管課 |
|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|------|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | |
| 2 教育基盤の充実 | | | |
| (1) 学校施設整備の充実 | | | |
| | ① 安全・安心な学校づくりを進める | 米須小整備事業、小中学校大規模改修事業(空調)ほか | 総務課 |
| | ② 情報化に対応するための設備の充実 | | |
| | ③ 環境にやさしい学校づくり | | |
| | ④ 既存施設の適正な維持管理 | | |
| (2) 学校給食の充実 | | | |
| | ① 栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供 | | |
| | ② 望ましい食習慣の形成 | 食育指導 | 給食セ |
| | ③ 安全な学校給食の提供 | | |
| (3) 人材育成事業の推進 | | | |
| | ① 奨学金の給付・貸与 | 奨学金貸付事業、岩崎奨学金給付事業 | 総務課 |
| | ② 県内外等への派遣費補助 | | |
| | ③ 次代を担う人材の能力開発の推進 | | |
| IV 市民文化の振興 | | | |
| 1 市民文化の充実 | | | |
| (1) 文化財の保全・育成 | | | |
| | ① 文化財の保全 | | 生涯学習 |
| | ② 南山城跡等の発掘復元及び地域のグスク調査の推進 | 文化財発掘調査事業、南山城跡等保存調査事業ほか | 生涯学習 |
| | ③ 文化財の公開・活用推進 | | |
| | ④ 伝統技術や芸能指導者・愛好者などの育成促進 | | |
| (2) 地域の歴史・文化資源の保全活用 | | | |
| | ① 地域おこし、まちづくりへの活用支援 | | |
| | ② 地域の歴史・文化資源の把握 | | |
| | ③ (仮称)系満市文化・平和・観光振興センターにおける展示資料の充実 | | |
| (3) 郷土史の編さん | | | |
| | ① 市史や研究資料の編集・発行 | 市史編集、村落資料編集事業ほか | 生涯学習 |
| | ② 史資料の調査収集・整理 | | |
| | ③ 市民への文化・歴史情報の提供 | | |
| | ④ 講座や企画展の開催 | | |
| | ⑤ 聞き取り調査の推進 | | |
| | ⑥ 字誌等への編集支援 | 市史編集、村落資料編集事業ほか | 生涯学習 |
| (4) 市民文化活動の振興 | | | |
| | ① 優れた芸術作品に触れる機会の提供 | なかゆくいロビーコンサートほか | 生涯学習 |
| | ② 市民の自主的な文化活動への支援 | | |
| | ③ 市民会館的拠点の建設 | | |
| V 生涯スポーツの振興 | | | |
| 1 スポーツの充実 | | | |
| (1) 市民スポーツの普及・振興 | | | |
| | ① 市民スポーツの普及 | スポーツ教室開催事業、各種大会実行推進費、平和トリムマラソンほか | 社会体育 |
| | ② 学校体育施設の開放促進 | 学校体育施設開放事業 | 社会体育 |
| | ③ スポーツ指導者の養成・確保 | | |
| | ④ 安全で気軽に参加できるスポーツ環境づくり | | |
| | ⑤ ニュースポーツの普及・レクリエーション活動の促進 | | |
| (2) 競技スポーツの普及・振興 | | | |
| | ① 青少年スポーツの充実 | | |
| | ② 指導者及び競技者の育成強化 | 保健体育振興(体協分) | 社会体育 |
| | ③ 各種大会の積極的な誘致と運営 | | |
| | ④ 競技団体の育成強化及び競技力向上対策 | | |
| (3) スポーツによる健康・地域づくりの推進 | | | |
| | ① 地域におけるスポーツ活動による健康・地域づくり | | |
| | ② スポーツ団体の活用による健康・地域づくり | | |
| (4) スポーツ施設・設備の充実 | | | |
| | ① 社会体育施設の整備・充実 | | |
| | ② 社会体育施設の効果的運営 | | |

5. 教育に関する事務の点検評価について

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 | | | | |
|-------------------|---|---|---|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 大 | I-1 | 家庭・地域教育力の醸成 家庭・地域の教育力を育む | | | | |
| 中 | (1) | 家庭における基本的な生活習慣の形成 | | | | |
| 小 | ② | 子どもの接し方、子ども理解を学ぶ機会の促進 | | | | |
| 事業名 | | 生涯学習振興事業、ブックスタート推進事業 | | | | |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート推進事業の実施(年10回) ・絵本のひろばの開催(読み聞かせに関する講演会、実演会、子ども劇場) ・「子育てゆんたく会」の開催 | | | | |
| ③ 実績と成果 | <p>・「ブックスタート事業」は年10回の乳幼児健診時に併せて開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、個別の読み聞かせ活動はできない場合もあったが、受診対象777組中650組(83.6%)に、絵本を介して親子のふれあうきっかけを提供した。</p> <p>・「第17回絵本のひろば」を開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、紙芝居作家さどやまかずひろ氏による講演会をYouTubeにて配信。186回の視聴回数があった。</p> <p>・「子育てゆんたく会」開催に向けて認定子ども園に対して周知を図ったが、結果としてコロナの影響で申し込みがなかった。</p> | | | | | |
| 施策の評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) | | | | |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い | <input type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> 認められる | <input type="checkbox"/> 必要性が低い | <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い | <input checked="" type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> 一定の効率あり | <input type="checkbox"/> 低い | <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い | <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い | <input type="checkbox"/> 一定の効果あり | <input type="checkbox"/> 効果が低い | <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 | 拡充・ <u>継続</u> ・改善・縮小・その他() | | | |
| 合計13点 B | 課題と今後の展開 | ブックスタート推進員の安定的な確保と新規推進員の養成が課題である。また、第3次糸満市子どもの読書活動推進計画(R2:策定・R3～6実施)に基づいて関係課と連携しながら読書活動を推進していく。子育てゆんたく会については、県が推奨する夢実現「親のまなびあい」プログラムと統合するなど、実施方法、内容を検討していきたい。 | | | | |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

ブックスタート事業は、コロナ禍の中、個別の読み聞かせ活動はできない場合もあったが、絵本を介して親子のふれあうきっかけを提供したとのことである。今後とも引き続き継続していただきたい。

絵本のひろばは、コロナウイルス感染防止の観点から紙芝居作家の講演会をYouTubeで配信するなど、創意工夫して取り組んだことを評価します。絵本のひろばは、長く開催され、市民の認知度や評価の高い事業である。ボランティアや推進員の確保とその養成に取り組み、引き続き事業を推進していただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|--|
| 大 | I-1 | 家庭・地域教育力の醸成 家庭・地域の教育力を育む |
| 中 | (2) | 地域で子どもを育む環境づくり |
| 小 | ④ | 地域における居場所づくりの推進 |
| 事業名 | | 地域学力向上推進事業、地域学校協働活動推進事業、放課後子ども教室推進事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>社会構造の変化によるコミュニティの希薄化や、家庭や地域における教育力の低下が危惧されているなか、子ども達の放課後の安全で安心な居場所づくりが求められている。それと並行して家庭・学校・地域の連携協働のなかでつながりを作り、地域住民の見守りのもと安全安心な居場所をつくること求められている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進事業(市内6中学校区) ・放課後子ども教室事業(糸満南小、光洋小、真壁小) ・地域学力向上支援事業(ゆいまー教室) (糸満小、西崎小、糸満中、高嶺中、三和中) |
| ③ 実績と成果 | <p>・地域学校協働活動推進事業は、学校や地域に趣旨が浸透してきており、ボランティアの登録も127名である。コーディネーターを6名配置し市内全中学校区で事業を実施。</p> <p>・放課後子ども教室は、週1回年20回程度開催。体験・交流活動を中心にプログラムを組み、サポーターに地域ボランティアを活用し、支援員とともに事業を実施。 糸満南小(15名)、光洋小(15名)、真壁小(15名)で実施。合計45名が参加。</p> <p>・地域学力向上支援事業「ゆいまー教室」は週2回、市内2小学校・3中学校で実施。講師に地域ボランティア、PTA、退職教員、大学生、元学習支援員等を活用し、宿題等を中心に基礎的な学習補助を行っている。 糸満小(14名、104h)、西崎小(38名、8h)、糸満中(25名、49h)、高嶺中(13名、69h)、三和中(6名・25h)で実施。合計96名が参加。</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充・ <u>継続</u> ・改善・縮小・その他() |
| 合計14点 A | 課題と今後の展開 | 地域学力向上支援事業においては、講師の人材発掘が課題である。地域学校協働活動推進事業においては、地域コーディネーターの配置数を増やしていくとともに地域学校協働本部事業の組織を整備し、令和2年度から全小中学校に設置される学校運営協議会(コミュニティ・スクール)との一体的な推進を図りたい。 |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

地域学校協働活動推進事業は、学校と地域に趣旨が浸透し、ボランティアの登録も増えている。コーディネーターも6中学校区に配置し事業を実施している。今後とも、地域ボランティアの発掘と人材確保に努め、事業の更なる充実を図って下さい。

放課後子ども教室は、放課後における子どもたちの安全で安心な居場所を地域ボランティアの協力のもと学校施設を活用し、地域の教育力を育むなど、その効果は高い取り組みである。また、ゆいまー教室については、2小学校・3中学校で実施、基礎的な学習補助を行っているとのことである。引き続き、地域と連携の上、事業内容などの拡充を図り取り組んでいただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|--|
| 大 | I-1 | 家庭・地域教育力の醸成 家庭・地域の教育力を育む |
| 中 | (3) | 組織連携の充実 |
| 小 | ② | 糸満市青少年育成市民会議や糸満市学力向上推進協議会の活動推進 |
| 事業名 | | 各種大会行事支援事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>次代を担う青少年が目的意識を持ち、規則正しい生活習慣の確立を身に付け、安全で安心な社会の実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年の主張大会を開催 ・青少年深夜はいかい防止 県民一斉行動、夏の交通安全県民運動市民総決起大会等の開催 ・教育講演会の開催 |
| ③ 実績と成果 | <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年7月までに開催している少年の主張大会の市町村大会については、学校現場の授業数確保等の観点から開催が困難であるということで、県大会のみの実施となり、本市の中学生が最優秀受賞。九州大会へ派遣。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、7月の青少年深夜はいかい防止県民一斉行動、夏の交通安全県民運動に併せて行う市民総決起大会は中止となったため、市広報8月号に「GO-家(ごーやー)運動」等を実践しようと周知を図った。</p> <p>・日ごろ青少年と関わる関係者を集めて、「子どもたちのスマホ・SNSによる犯罪を防ぐには ～沖縄からスマホ/ネットのトラブルがなくなる本当の理由～」をテーマにスマートフォンアドバイザー/沖縄県サイバー防犯PR大使であるモバイルプリンス(島袋コウ)氏による教育講演会を開催。約30名の参加があり反響があった。</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充・ 継続 ・改善・縮小・その他() |
| 合計12点 B | 課題と今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成に向けた各種事業を、各支部や構成団体との連携を密にしながら、取り組んでいく。 ・少年の主張大会においては、学校と調整しながら負担のない開催方法を検討したい。 |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

少年の主張大会は、次代を担う中学生が日頃、考えていることをまとめ、多くの人前で発表することは、学習意欲の向上と人材育成に繋がるものである。今回は新型コロナウイルス感染の関係で、市の大会は中止となったが県大会で本市の中学生が最優秀賞を受賞し、九州大会へ派遣されたことは素晴らしい限りである。青少年深夜はいかい防止県民一斉行動等の市民総決起大会も、コロナ禍により中止となったが、同大会は、多くの市民や関係団体が参加し、市民みんなで青少年を見守る機運の醸成ができるなど、青少年の健全育成に大きく寄与する大会である。次回は、是非、開催していただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|--|
| 大 | Ⅱ-1 | 生涯学習社会の形成 生涯学習・社会教育の振興 |
| 中 | (1) | 生涯学習基盤の整備 |
| 小 | ④ | 青少年・社会教育団体の交流推進及び活動支援 |
| 事業名 | | 姉妹都市・友好都市青少年交流事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>地域の活性化を図るには、女性会、青年会、子ども会等の社会教育団体の役割は重要である。社会教育団体を支援することにより、地域の教育力を高め、次代を担う人材の育成につなげる。</p> <p>・社会教育団体に補助金を交付し、団体活動に対する指導・助言を行うとともに組織力の強化を図る。 ・都農町(小学生派遣)青少年交流事業を実施。網走市・厚木市(中学生受入)青少年交流事業を実施。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>コロナ禍の中、各社会教育団体において可能な限り事業を実施。</p> <p>・社会教育3団体(女性会・市子連・糸青協)によるグラウンドゴルフ大会を実施。 ・女性会は、研修会等を開催し会員の学習機会を創出したほか、廃油石鹸づくり等により周知活動を図った。 ・市子連は、ジュニアリーダーレク研修を開催した。 ・青年団は成人式典の役員派遣協力があつた。 ・姉妹都市である都農町との小学生交流事業(受入)、友好都市である網走市・厚木市との交流事業(受入)、網走市との交流事業(派遣)が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となった。</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合 評価 | 今後の方向性 拡充・ <u>継続</u> ・改善・縮小・その他() |
| 合計11点 B | 課題と今後の展開 | 社会教育団体には、組織への加入者の減少に加え、役員のなり手がいないという組織課題がある。持続可能な体制のあり方について、引き続き重要課題として検討していく必要がある。 |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

地域の活性化を図るには、女性会や青年会、子ども会等の役割は大きなものがある。それらの社会教育団体を支援することは、地域の教育力の向上と次代を担う人材育成に繋がるものと考え。いずれの団体においても会員の減少や役員のなり手が少ないなど組織的課題がある。その課題解消について、関係団体と連携を図り取り組んでいただきたい。今年度は、コロナ禍により予定していた事業が一部中止となったが、可能な限り実施したことは評価したい。

青少年交流事業(都農町、網走市・厚木市)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。コロナ禍が落ち着いたら事業を再開していただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 大 | Ⅱ-1 | 生涯学習社会の形成 1 生涯学習・社会教育の振興 | | | | | | | | | | | | |
| 中 | (3) | 図書館活動の充実 | | | | | | | | | | | | |
| 小 | ① | 図書館資料の整備・充実とレファレンス機能サービスの充実強化 | | | | | | | | | | | | |
| 事業名 | | 図書館資料等充実促進事業 書籍等購入事業 中央図書館窓口業務委託事業 | | | | | | | | | | | | |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>資料の収集、整理、保存はもとより、コンピュータを用いて資料の検索及び貸出し、情報の提供・紹介などのレファレンスサービスやインターネット活用による情報の発信など住民への図書館利用サービスに努める。学習の拠点として図書館資料の収集、整理、保存を行い、市民の生活に役立つ情報の提供生活を豊かにする趣味や教養を深める等、自己学習の場を提供。</p> <p>ア 図書館資料の整備・充実、 イ 図書館職員の資質・能力の向上、 ウ 利用者に応じた図書館サービスの提供、 エ レファレンスサービスの充実・強化、 オ 郷土資料の収集・整備の充実</p> | | | | | | | | | | | | |
| ③ 実績と成果 | | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">蔵書総数 (R2) 290,500点 (R1) 265,777点</td> <td style="width: 33%;">団体登録数 (R2) 251団体 (R1) 209団体</td> <td style="width: 33%;">団体貸出点数 (R2) 8,460点 (R1) 9,641点</td> </tr> <tr> <td>個人登録数 (R2) 29,006人 (R1) 28,279人</td> <td>貸出人数 (R2) 41,259人 (R1) 66,374人</td> <td>貸出点数 (R2) 201,289点 (R1) 301,485点</td> </tr> <tr> <td>予約人数 (R2) 3,835人 (R1) 3,384人</td> <td>レファレンス (R2) 160件 (R1) 445件</td> <td>文献複写 (R2) 120件 (R1) 375件</td> </tr> <tr> <td>館内視聴 (R2) 277人 (R1) 5,824人</td> <td>インターネット利用数 (R2) 51件 (R1) 211件</td> <td>※R2年度は、コロナウイルス感染症対策等の為、臨時休館等あり。</td> </tr> </table> | 蔵書総数 (R2) 290,500点 (R1) 265,777点 | 団体登録数 (R2) 251団体 (R1) 209団体 | 団体貸出点数 (R2) 8,460点 (R1) 9,641点 | 個人登録数 (R2) 29,006人 (R1) 28,279人 | 貸出人数 (R2) 41,259人 (R1) 66,374人 | 貸出点数 (R2) 201,289点 (R1) 301,485点 | 予約人数 (R2) 3,835人 (R1) 3,384人 | レファレンス (R2) 160件 (R1) 445件 | 文献複写 (R2) 120件 (R1) 375件 | 館内視聴 (R2) 277人 (R1) 5,824人 | インターネット利用数 (R2) 51件 (R1) 211件 | ※R2年度は、コロナウイルス感染症対策等の為、臨時休館等あり。 |
| 蔵書総数 (R2) 290,500点 (R1) 265,777点 | 団体登録数 (R2) 251団体 (R1) 209団体 | 団体貸出点数 (R2) 8,460点 (R1) 9,641点 | | | | | | | | | | | | |
| 個人登録数 (R2) 29,006人 (R1) 28,279人 | 貸出人数 (R2) 41,259人 (R1) 66,374人 | 貸出点数 (R2) 201,289点 (R1) 301,485点 | | | | | | | | | | | | |
| 予約人数 (R2) 3,835人 (R1) 3,384人 | レファレンス (R2) 160件 (R1) 445件 | 文献複写 (R2) 120件 (R1) 375件 | | | | | | | | | | | | |
| 館内視聴 (R2) 277人 (R1) 5,824人 | インターネット利用数 (R2) 51件 (R1) 211件 | ※R2年度は、コロナウイルス感染症対策等の為、臨時休館等あり。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策の評価 | 区分 | 考察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) | | | | | | | | | | | | |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない | | | | | | | | | | | | |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い | | | | | | | | | | | | |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない | | | | | | | | | | | | |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充 ・ 継続 ・ 改善 ・ 縮小 ・ その他() | | | | | | | | | | | | |
| | 合計12点 B | 課題と今後の展開 レファレンス事例をデータ化し、資料収集や情報提供に活用している。研修参加やレファレンス内容の検討会など、司書の資質の向上を図っている。TwitterなどSNSによる図書館の情報発信を積極的に行う。電子書籍導入による読書環境の充実。 | | | | | | | | | | | | |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

コロナウイルス感染防止対策のため、臨時休館や入館制限などを行ったことにより、図書の貸出数がかなり低下した。図書館の蔵書総数が増えていることは評価したい。令和2年10月より窓口業務を民間委託したとのことである。委託効果は司書の人材確保と安定雇用により優秀な司書が集まり、レファレンスサービスの充実強化が図られたとのことである。民間委託の効果は今後とも検証していただきたい。

若年層の利用を促すため、TwitterなどSNSによる図書館の情報発信を積極的に行っていることや電子書籍導入への取り組みは評価したい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 | | | | |
|--------------------|---|---|--|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 大 | Ⅲ-1 | 学校教育の充実 教育体制の充実 | | | | |
| 中 | (1) | 豊かな心の育成 | | | | |
| 小 | ①⑥ | 道徳教育の充実、生徒指導の充実 | | | | |
| 事業名 | | 適応指導教室設置事業 | | | | |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>不安など情緒の混乱等による不登校の児童生徒に対し、体験的諸活動や個に応じた適切な学習や教育相談活動を通じて、人間関係の改善及び自己肯定感を育み、生活自立を高めながら学校生活への適応を図り学校復帰を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入室児童生徒に対し基本的生活習慣の確立、体験的諸活動、学習指導、集団適応指導、教育相談を実施する。 ・学校や家庭との連携を密にし、協力しながら学校復帰を支援する。 ・市相談員連絡会議、適応指導協力者会議、管内適応指導協力者会議など各機関と連携を図り、情報交換・意見交換を実施し指導へつなぐ。 | | | | |
| ③ 実績と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室主任担当者を1名、補助担当者を1名配置 ・教育相談員を2名配置。 ・令和2年度の適応教室入級者数は、小学生(男子6人、女子4人)、中学生(男子0人、女子9人)の計19人。 ・このうち中学3年生の1人が高校へ進学するなど改善が見られた。他の児童生徒も、所属学校へのチャレンジ登校ができるようになったり、13人(小学生9人、中学生4人)が学校復帰するなど改善が見られた。 | | | | | |
| 施策の評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) | | | | |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い | <input type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> 認められる | <input type="checkbox"/> 必要性が低い | <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い | <input checked="" type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> 一定の効率あり | <input type="checkbox"/> 低い | <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【効率性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い | <input type="checkbox"/> 効果が高い | <input type="checkbox"/> 一定の効果あり | <input type="checkbox"/> 効果が低い | <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 | 拡充・ <u>継続</u> ・改善・縮小・その他() | | | |
| 合計 14点 A | 課題と今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが整わず適応指導教室にも通室できない児童生徒にどのように関わって指導するべきか検討が必要である。 ・生徒の生活リズム改善のため、保護者とどのように連携していくか検討する必要がある。 ・体験入室も含め、増加する入室児童生徒の受け入れ体制の構築。 ・発達障害等を持つ児童生徒の受け入れ及びその対応のための専門的なスタッフの確保。 | | | | |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

適応指導教室「とびうお学級」の学級経営が順調に行われていることは主任教諭の献身的な働きに負うところが大きい。補助担当者と協力して多くの児童生徒を学校復帰や高校進学へつなげたことは賞賛に値する。課題として挙げられている「発達障害を持つ児童生徒の受け入れ及びその対応のためのスタッフの確保」は急務であるとともに糸満市内にある発達障害の関連する施設との連携も必要である。ところで、市全体の児童生徒千人当たり不登校児童生徒数を評価の指標に加えたらどうだろうか。全体的な不登校の出現率も気になる。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|------------------------|---|--|
| 大 | Ⅲ-1 | 学校教育の充実 教育体制の充実 |
| 中 | (1)、(3) | 豊かな心の育成、健やかな体の育成 |
| 小 | ①⑤⑥、① | 道徳教育の充実・特別支援教育の充実・生徒指導の充実、健康安全教育の充実 |
| 事業名 | | 障害児支援ヘルパー事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>学校において安全面や生活面で支援を必要とする、心身に障がいをもつ児童生徒にヘルパーを配置するものである。近年、障がいをもつ児童生徒の保護者が地域の幼稚園や学校への通学を希望し、その数は増加している。また学習障がいや発達障害による支援を要する児童生徒も増加傾向にあり、ヘルパー派遣のニーズは高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいを持つ児童生徒の学校での安全面・生活面の支援を行う。 ・ 学校・教育委員会・ヘルパーと児童生徒・保護者との信頼関係や協力体制の確立。 ・ ヘルパーの資質向上や情報交換を目的とした研修会の実施。 |
| ③ 実績と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度は市内小学校(22人)、中学校(7人)の計29人の支援ヘルパーを配置した。 (H31・R元: 小学校(19人)、中学校(5人)の計24人) ・ 支援対象の児童生徒数は小学校(108人)、中学校(20人)の計128人。 ・ 特別支援教育指導コーディネーターを1人配置し、小中学校に在籍する支援が必要な児童生徒への教育支援、保護者への教育相談、個別の支援計画及び指導内容の策定等に関する教育的支援の充実を図った。 | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合 評価 | 今後の方向性 拡充 <u>継続</u> 改善・縮小・その他() |
| 合計 15点 A | 課題と今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい等のある児童生徒の発達や障がい全般に対する知識や理解を有する者の配置が必要であり、今後とも資質の向上と確保に努める。 ・ 各学校の特別支援教育コーディネーターの資質向上、全教諭の特別支援教育に対する理解と知識の向上を図る必要がある。 ・ 対象児童生徒の増に伴い、ヘルパーの配置方法の工夫改善が急務である。 |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

学校のニーズに応えようと教育委員会が頑張っていることがうかがえ、令和2年度は前年度に比べて5名増員したことは評価できる。ヘルパー(特別支援教育支援員)は、担任教師等と連携のうえ、日常生活上の介助、発達障害等の幼児児童生徒に対する学習支援、幼児児童生徒の健康・安全確保、周囲の幼児児童生徒の障害理解促進等を行う趣旨で配置されており、発達や障害全般に関する知識理解を有する者の配置できることが重要である。

また、児童心理治療施設に児童精神科の診療所を併設し外来機能を充実させ3ヶ月待ち診療を解消するとともに子どもの心のケアセンター的役割を担っていただくよう沖縄県へ働きかけてほしい。(例えば、子どもの精神医療に特化した総合的な県立拠点病院や福祉大学・福祉専門学校、沖縄県高等専門学校等平和の発信拠点にふさわしい未来につながる施設の観光農園跡地への誘致)

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|--|
| 大 | Ⅲ-1 | 学校教育の充実 教育体制の充実 |
| 中 | (2) | 確かな学力の定着 |
| 小 | ① | 幼児教育の充実 |
| 事業名 | | 幼稚園支援事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>幼児教育担当指導主事及び幼小接続アドバイザーによる公私こども園、保育園等及び市内小学校との連携体制を構築する。また、連携事業を通して小学校教育への円滑な接続を図る。「幼児期において育みたい資質能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、生きる力を育むと共に、幼児教育の充実を図る。</p> <p>市内10小学校、市内公私17こども園、法人12保育園、1私立幼稚園において、幼小連携支援事業を実施する。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>幼小連携支援事業を円滑に実施するために、推進委員会を年2回、連絡協議会を年3回開催し事業の周知、向上を図った。コロナウイルス感染症の影響もあり、幼児児童間の連携交流はもてなかったが、小学校1年生の公開授業、幼児教育施設の公開保育、合同研修会を実施し幼小教育の相互理解を図った。</p> <p>幼児教育の充実が小学校以降の学習の基盤となることから、市内幼児教育施設(30園)を巡回訪問し「糸満市幼児教育アクションプラン」に基づいた研修を行い、幼児教育の方向性を共有した。</p> | |
| 施策の 評価 | 念 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総 合 評 価 | 今後の方向性 拡充・ <u>継続</u> ・改善・縮小・その他() |
| 合計14点 A | 課題と今後の展開 幼小接続期カリキュラムの見直しや協議会の内容の充実を図り、子どもの発達や学びをつなぐ「接続」を意識した取り組みを推進していく。 | |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

幼児教育を充実させるために予算をかけることが最も費用対効果の高い施策だと言われている。公立こども園(5園)のみならず法人子ども園(12園)及び法人(12保育園)を含めた幼児教育を充実させるため平成25年度から継続して担当指導主事やアドバイザーを配置していることは高く評価する。子ども園や保育所の管轄が福祉部に移行した後も幼児教育の中身に関する事は教育委員会がしっかりと関与し、幼児期の終わりまで育って欲しい10の姿を保育こども園課と連携して育てていただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| | | |
|---------------------|--|--|
| 項目 | コード | 教育施策名 |
| 大 | Ⅲ-2 | Ⅲ 学校教育の充実 2 教育基盤の充実 |
| 中 | (1) | 学校施設の整備・充実 |
| 小 | ① | 安全・安心な学校づくりを進める |
| 事業名 | | 米須小学校整備事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育環境である。充実した教育活動を十分に展開できる高多機能な施設環境とともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい快適で安全・安心なものでなければならない。</p> <p>特に、S56年以前に建築された旧耐震基準の建物は、老朽化によるコンクリートの剥離が多く発生しているため、早期に改築を行う必要がある。</p> <p>米須小学校の老朽化した危険校舎2棟の改築に合わせて、屋外便所の整備、バリアフリー化、防災機能等の向上を図ります。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>米須小学校の老朽化した校舎の改築事業については、鉄筋コンクリート造、5階建て、延べ床面積2873.25㎡グラウンドから新設校舎や既設校舎3階までの移動も考慮した設計とし、エレベーターを設置することで、車イスでの移動が可能となりました。</p> <p>本事業(校舎改築)は令和2年6月に完了しました。</p> | |
| 施策の評価 | 区分 | 考察(配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められる |
| | 【効率性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充 ・ 継続 ・ 改善 ・ 縮小 ・ その他() |
| 合計 15 点 A | 課題と今後の展開 | <p>米須小の改築が終わると、高嶺小移転改築事業があるので、しっかり取り組みます。高嶺小で旧耐震校舎の改築は完了となります。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

老朽化した危険校舎の改築を計画的に進めていることは素晴らしい。バリアフリー化と防災機能を備えた米須小学校の改築は地域の防災拠点として役割も大きい。

今後、高嶺小学校の校舎改築に向けては小中一貫教育校の特色が生かせるような学校施設整備をしていただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| | | |
|---------------------|--|---|
| 項目 | コード | 教育施策名 |
| 大 | Ⅲ-2 | Ⅲ 学校教育の充実 2 教育基盤の充実 |
| 中 | (1) | 学校施設の整備・充実 |
| 小 | ① | 安全・安心な学校づくりを進める |
| 事業名 | | 小学校校舎大規模改造事業(空調)・中学校校舎大規模改造事業(空調) |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>沖縄県は亜熱帯地方に属することから、夏場は教室内の室温が30℃を超えることが多く、児童の健康面や学習意欲に悪影響を及ぼすため、空調設備を整備し快適な室内環境を提供する必要があります。</p> <p>糸満南小・高嶺小・喜屋武小・光洋小・西崎中・高嶺中・の特別教室や管理諸室の老朽化した空調機の更新や、新規設置を行いました。(※普通教室については、前年度(令和元年度)に全学校設置済み。)</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>各学校とも授業への影響を軽減するため、春休又は夏休などの長期休暇を利用して、工事を実施しました。</p> <p>また、省エネや光熱費の低減のため、従来型の電気方式ではなく、プロパンガスを用いたGHP方式を採用しました。</p> | |
| 施策の評価 | 区分 | 考察(配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められる |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充 ・ 継続 ・ 改善 ・ 縮小 ・ その他() |
| 合計 13 点 B | 課題と今後の展開 | <p>空調設備については、稼働費や修繕又は更新費などに多額の予算が必要になることから、空調設備の長寿命化計画を策定して、施設整備に係る予算の平準化を検討する必要があります。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

沖縄県にとって暑さ対策は、児童生徒や教職員の健康面や学習環境の向上を図る上で重要である。児童生徒の健康を最優先に継続的な施策を期待する。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|--|
| 大 | Ⅲ-2 | 学校教育の充実 教育基盤の充実 |
| 中 | (2) | 学校給食の充実 |
| 小 | ② | 望ましい食習慣の形成 |
| 事業名 | | 食育の推進 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>近年、家庭では朝食を食べない、自分の好きなものを食べる等食生活の乱れや肥満など、子どもたちの健康に関する取り巻く問題が生じている。こうした現状を踏まえ、子どもたちが学校給食を通して日常生活の食事についての知識や望ましい食習慣を養うため食育を推進することが重要である。</p> <p>栄養士が小中学校に出向き、食育指導を通して食事の重要性を理解し望ましい栄養摂取や食事のとり方を理解させ自ら健康管理していく能力を身に付け、又、好き嫌いをなく栄養バランスよく食べる、食事のマナーや重要性、食品の正しい知識・情報に基づいて品質及び安全性について自ら判断できる能力を身に付ける。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>食育指導(令和2年度) ①小学校 9校(54回) ②中学校2校(14回)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により前年度より食育指導の回数が減少したが、栄養教諭や学校栄養職員が学級担任とのチームティーチングによる指導を通して、食に関する知識や好き嫌いをなく食べる大切さを教えることで、児童・生徒が食事の重要性や心身の健康に対する関心が高まった。</p> | |
| 施策の評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充・ 継続 ・改善・縮小・その他() |
| 合計14点 A | 課題と今後の展開 | <p>食生活の変化などで、偏った栄養摂取や不規則な食事など、食の乱れが見られるなか、学校給食を通して、成長期にある児童・生徒に健康に過ごすための食生活について理解を深めさせていくことは重要である。しかしながら食育指導を行うなかでも食べ残しが見られ今後とも家庭や学校と連携を図り食育指導は継続して行く。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

昨今の児童生徒の食習慣の乱れは大きな課題となっている。全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙によれば、朝食を毎日食べている小学校児童は令和元年度と3年度の比較において本市(82.9%、83.3%)全国(86.7%、85.8%)中学生は本市(78.3%、86.7%)全国(82.3%、81.8%)となっており、中学校においては大きな改善が見られる。栄養士が学校へ出向いて食育指導を行うことはとても有効であるとともに地域全体としての食育は重要である。今後とも学校現場と連携した取り組みを行っていただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|--------------------|--|--|
| 大 | Ⅲ-2 | 学校教育の充実 教育基盤の充実 |
| 中 | (3) | 人材育成事業の推進 |
| 小 | ① | 奨学金の給与・貸与 |
| 細 | ア | 人材育成奨学金の貸与 |
| 事業名 | | 奨学金貸付事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>専修学校、短期大学、大学及び大学院に就学する学生に対し、奨学資金を貸与することで、次代の糸満市を担う人間性豊かな人材の育成を図る。</p> <p>月額で県外大学 40,000円、県内大学 20,000円を無利子で貸与し、卒業後半年を経て貸与月額と同額を貸与年数で返済させる。H28年度から入学準備金(上限24万円)の貸与を開始。</p> <p>募集方法: 市広報・HP、近隣の高校への案内通知 ※他の奨学金との併用はできない。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>継続(貸与)で7人(県外大学6人、県内大学1人)、新規申請2人中、県内大学2人承認。県外大学の新規申請1人いたが、南部振興会へ推薦。 入学準備金貸与については、新規1人(県内大学1人)承認。</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充・ 継続 ・改善・縮小・その他() |
| 合計 11点 B | 課題と今後の展開 | <p>償還金の収納率を上げるため、分割返済への対応や催促通知の回数を増やす等継続して収納率を高める努力を継続する。 一方で、コロナ禍の影響を考慮し、期限を決めた猶予対応も検討を要する。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

経済的な理由から就学が困難な優秀な学生等に対し、奨学金の貸付を行うことは、次代の糸満市を担う人材の育成に繋がるもので有意な事業である。
奨学金貸与事業は、貸与者からの償還金を財源としているので、収納率を高める必要がある。貸与者の就業状況等を調査し、分割返済など適切な対応を図っていただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 | | | | |
|------------------------|---|--|---|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 大 | Ⅲ-2 | 学校教育の充実 教育基盤の充実 | | | | |
| 中 | (3) | 人材育成事業の推進 | | | | |
| 小 | ① | 奨学金の給与・貸与 | | | | |
| 小 | イ | 岩崎奨学金の給与 | | | | |
| 事業名 | | 岩崎奨学金給付事業 | | | | |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>大学、短期大学及び高校生で経済的理由によって就学困難な者に対し、奨学資金を給付することで、次代の糸満市を担う人間性豊かな人材の育成を図る。</p> <p>月額で大学生 10,000円、高校生 5,000円を給付する。他の奨学金との併用はできない。</p> <p>募集方法：市広報、市HP、近隣の高校への案内通知</p> | | | | |
| ③ 実績と成果 | <p>継続（給付）で7人（大学3人、高校4人）、新規申請14人中、県内大学等1人、県内高校6人の7人承認。</p> | | | | | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察（配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする） | | | | |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い | <input type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> 認められる | <input type="checkbox"/> 必要性が低い | <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い | <input checked="" type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> 一定の効率あり | <input type="checkbox"/> 低い | <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い | <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い | <input type="checkbox"/> 一定の効果あり | <input type="checkbox"/> 効果が低い | <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合 評価 | 今後の方向性 | (拡充) 継続 ・ 改善 ・ 縮小 ・ その他() | | | |
| 合計 13点 B | 課題と今後の展開 | <p>市民からのニーズが高いが、岩崎人材育成基金の利子のみでは運用できないため、寄付金の一部を当給付事業へ充てられるよう、寄付金収入増額に向けて、その募り方等を充分検討する必要がある。</p> | | | | |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

経済的な理由から就学が困難な優秀な学生等に対し、岩崎奨学金の給付を行うことは、次代の糸満市を担う人材の育成に繋がるもので有意な事業である。
岩崎奨学金の給付については、平成30年度から令和4年度まで12万円ずつ増額し120万円とするとのことである。財政状況が厳しい中での増額、大きく評価したい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|---|
| 大 | IV-1 | 市民文化の振興 市民文化の充実 |
| 中 | (1) | 文化財の保全育成 |
| 小 | ③ | 南山城跡等の発掘復元及び地域のグスク調査の実施 |
| 事業名 | | 南山城跡等保存調査事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>南山城跡は、これまで数回にわたる発掘調査が行われたが遺構等の詳細な把握には至っていない。南山城跡の保存状況の確認調査を実施し、今後の保存と活用を図るための基礎資料を収集する。本事業での調査成果を国指定史跡への申請資料として活用するとともに、文化財保護思想の一助としたい。</p> <p>・南山グスクの遺構等の残存状況確認のための地中探査と測量調査、南山グスクに関連する真栄里グスクの測量調査等を実施した。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>・本事業は当初、1,488千円であったが、遺跡発掘事前総合調査の事業費を充当し、最終予算額は37,221千円となり、以下の内容で事業を執行した。</p> <p>①南山グスクの遺構等の残存状況確認のための地中レーダー探査及び表面波探査を、高嶺小学校、南山神社、高嶺中学校で実施した。</p> <p>②南山グスク本来の石積である北側石積部分でのレーザー測量及び南山グスクの用地測量を実施した。</p> <p>③南山グスクに関連する嘉手志川で地形測量を実施した。</p> <p>④南山グスクに関連する周辺グスクの一つである真栄里グスクの地形測量及び縄張り図作成を行った。</p> <p>⑤南山グスクから出土した文化財の整理作業を引続き行った。</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察（配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする） |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充 ・継続・改善・縮小・その他() |
| 合計14点 A | 課題と今後の展開 | <p>・南山グスク及び周辺グスクの地形測量や用地測量等を継続して実施し、国史跡指定の基礎資料とする。</p> <p>・中国産陶磁器については、引き続き分類・整理作業を継続し、南山城跡の存続時代の確認や文献史料との比較検討を行う。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

城跡等の発掘や復元に関しては専門的知識を有する人材の確保が重要と思われる。又、出土品の調査、整理作業等を行い、歴史的価値がある品々の展示スペースの確保もお願いしたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-----------------------|---|--|
| 大 | IV-1 | 市民文化の振興 市民文化の充実 |
| 中 | (3) | 郷土史の編さん |
| 小 | ① | 市史や研究資料の編集・発行 |
| 小 | ⑥ | 字誌等への編集支援 |
| 事業名 | | 「村落資料」編集事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>糸満市域の各村落に関する史資料の収集・整理・調査を実施し、各村落の歴史、現況、風土、慣習等についての共通性や特性を明らかにした『糸満市史 資料編13 村落資料 旧真壁村編』として刊行する。</p> <p>5人の専門家で構成する村落専門部会で、編集方針や目次案、調査内容等を決定し、旧町村単位の『村落資料』を順次刊行する。事務局は、基礎資料の収集整理や村落地図等の作成、執筆者への資料提供などを行う。提出済みの原稿は、事務局・執筆者間で修正等を加え、村落専門部会の監修を経て刊行に備える。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>・令和2年度は、旧真壁村域の字真壁・字真栄平・字新垣・字宇江城・字名城等で、史資料の収集・整理・年中行事等の調査を実施した。村落専門部会は、字真壁の原稿監修を2回開催した。</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察（配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする） |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充 ・継続・改善・縮小・その他() |
| 合計13点 B | 課題と今後の展開 | <p>・『市史』の原稿は、分担執筆を行っているため、各執筆者による異なる表現を、全体をとおして整理し統一性を図らなければならないが、そのためには事務局による原稿調整及び専門部会での監修に要する時間を確保する必要がある。事務体制の強化が課題である。</p> <p>・聞き取り対象者が年々減少しており、早急な調査が必要である。</p> <p>・市史編集専門職員の配置と「市史編集計画」の早急な見直しが必要である。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

「市史」の発行までの資料収集や編集作業はとても大変なことであり、その刊行は関係者にとっては待ち望まれることである。その点からも多くの市民にどのような形式、方法で「市史」の発行を知ってもらい活用してもらうことが出来るのかを考える必要がある。

「字誌等への編集支援」については、編集支援としてその作業の効率性を高めるためには専門委員の増員や事務局体制の強化にあると考えられる。それに伴い予算の確保も必要である。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|-------------------|---|---|
| 大 | IV-1 | 市民文化の振興 市民文化の充実 |
| 中 | (4) | 市民文化の活動の振興 |
| 小 | ① | 優れた芸術作品に触れる機会の提供 |
| 事業名 | | なかゆくいロビーコンサート |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>市民が気軽にプロによる質の高い演奏を楽しめる機会を設け、音楽への関心と本市の音楽文化の振興を図るとともに、市民文化活動拠点としての文化施設整備への気運を高めることを目的とする。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の市庁舎での公演ではなく、喜屋武小学校へ、おでかけ「なかゆくいロビーコンサート」を開催した。</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>・本年度は、令和2年12月11日(金)喜屋武小学校において、弦楽器による”おでかけ「なかゆくいロビーコンサート」”を実施した。昼休時間を利用したため、30分間の短時間ではあったが、クラシック音楽、沖縄民謡、人気アニメ「鬼滅の刃」の主題曲など児童生徒が楽しめる内容となった。また、曲目の間に、ヴァイオリンをはじめとする弦楽器についての解説があり、楽器についても学べる内容となった。</p> <p>曲目は以下のとおり。 ○アイネクライネナハトムジーク、○ハンガリー舞曲No.5、○ていんさぐぬ花、○芭蕉布、○クリスマスメドレー、○ジングルベル、○サンタが町にやってくる、○紅蓮華(以上8曲)</p> | |
| 施策の評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充・ 継続 ・改善・縮小・その他() |
| 合計13点 B | 課題と今後の展開 | 市民の音楽振興を図るために、今後も少人数での演奏に特化した公演を継続したい。 過去のアンケートでは、琉球民謡等の要望もあり、今後も多様な音楽の演奏を行い、多くの市民に楽しめる機会の提供に努めたい。 |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

とても良い企画だと思う。普段あまり接することのないクラシック音楽を間近で見たり聞いたりすることで、音楽に親しむ機会が提供できる。市役所ロビーだけではなく、学校への「おでかけ、なかゆくいロビーコンサート」も回数を増やし、子ども達にも楽しんでもらいたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|------------------------|---|--|
| 大 | V-1 | 生涯スポーツの振興 スポーツの充実 |
| 中 | (1) | 市民スポーツの普及・振興 |
| 小 | ① | 市民スポーツの普及(各種事業等) |
| 事業名 | | スポーツ教室開催事業、各種大会実行推進事業 |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>平成7年に制定された「糸満市スポーツ健康都市宣言」の趣旨に基づき、全ての市民に健康・体力づくりを推進し、医療費の抑制に努める。 大会等については、市民が関心を抱くよう工夫を凝らし、より多くの市民が参加出来るように実施。</p> <p>(スポーツ教室)・少年少女水泳教室。少年少女カヌー教室・一般ウェイトトレーニング教室・地域巡回スポーツ教室</p> <p>(各種大会等)・少年少女駅伝大会・てくてくウォーキング大会</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により各種教室の中止・制限を行ったため、参加者数は大幅減となった。</p> <p>(参加者は下記のとおり)</p> <p>①少年少女水泳教室(中止:0名) ②少年少女カヌー教室(中止:0名) ③ウェイトトレーニング教室(28名) ④地域巡回スポーツ教室(中止:0名) ⑤少年少女駅伝大会(中止:0名) ⑥てくてくウォーキング(延期:0名)次年度延期 ⑦オクトーバーラン&ウォーク(235名)</p> | |
| 施策の 評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input checked="" type="checkbox"/> 効果が低い <input type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充・ <u>継続</u> ・改善・縮小・その他() |
| 合計 9 点 C | 課題と今後の展開 | 予算的に厳しい状況で事業規模を削減を余儀なくされてきたが、スポーツ推進委員を大いに活用し、市民総スポーツ化に近づけるような方向づけを関係機関と連携しながら、事業の展開を図っていきたい。 |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

糸満市スポーツ健康都市宣言の趣旨に基づき、すべての市民の健康・体力づくりを推進するため、各種運動教室開催やスポーツイベント・大会などを行い、多くの市民がスポーツに親しむ機運を高めることは有意なことである。しかしながら、令和2年度は多くの事業がコロナ禍により中止となった。その中でオンラインイベントとして、オクトーバーラン&ウォークを開催したことは評価したい。現在、コロナの状況も落ち着きつつあり、感染状況を見極めながら、できることから各種事業に取り組んでいただきたい。

教育施策事務点検評価シート

| 項目 | コード | 教育施策名 |
|------------------|--|---|
| 大 | V-1 | 生涯スポーツの振興 スポーツの充実 |
| 中 | (1) | 市民スポーツの普及・振興 |
| 小 | ① | 市民スポーツの普及(健康推進事業) |
| 事業名 | | 平和トリムマラソン |
| ① 施策概要 | 事業内容 | <p>多くの住民がスポーツに親しみ、健康・体力づくりを推進して親睦と融和により平和と福祉の高揚を図り、スポーツの振興と地域の活性化を促進することを目的とする。また、これまでのなんぶトリムマラソンの終了を受け、特に福祉団体から大会の開催を望む声が多く、糸満市単独での開催を決定した。</p> <p>トリムマラソンの部として種目を選定 ・ハーフマラソン、10km、5Km、車イス5Km、ファミリーコース3Kmの5種目を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期となった。</p> <p>・各種目の上位及び抽選により、糸満市の姉妹・友好都市マラソンへの派遣及び東京ディズニーランドへの招待、その他視覚障がい者・車いす入賞者・最高年齢者への表彰等を設定</p> |
| ③ 実績と成果 | <p>・第3回大会は、新型コロナウイルス感染症拡大により、次年度へ延期となった。</p> | |
| 施策の評価 | 区分 | 考 察 (配点は①～③とも左から5点、4点、3点、2点、1点とする) |
| | 【必要性】 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> ほぼ認められない |
| | 【効率性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効率あり <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非常に低い |
| | 【有効性】 | <input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 一定の効果あり <input type="checkbox"/> 効果が低い <input checked="" type="checkbox"/> 効果がほとんどない |
| | 総合評価 | 今後の方向性 拡充 <u>継続</u> 改善・縮小・その他() |
| 合計9点 C | 課題と今後の展開 | <p>大会を継続するには予算確保や消防の救急体制の確立をはじめ、競技の専門的知識が必要なことから、人材の確保と各種団体等との連携が重要である。</p> |

※総合評価は A=14～15点、B=11～13点、C=8～10点、D=5～7点、E=4点以下

点検評価員の意見(外部評価)

糸満市スポーツ健康都市宣言の趣旨に基づき、すべての市民の健康・体力づくりを推進するため、各種運動教室開催やスポーツイベント・大会などを行い、多くの市民がスポーツに親しむ機運を高めることは有意なことである。

いとまん平和トリムマラソンは、第2回大会が中止となり、第3回大会は次年度へ延期となった。多くの市民が楽しみにしているトリムマラソンである。コロナ禍が落ち着き、早期に開催できることに期待したい。

6. 学識経験者の知見の活用

学識経験者の知見の活用(評価)を実施するにあたっては、令和3年11月10日(水)及び11月18(木)事務点検評価会議を開催し、以下3人の学識経験者から意見を頂きました。

糸満市教育事務点検評価員(以下敬称略)

玉城 隆光

金城 毅

上地 美智子

学識経験者の評価と意見

※以下の各項目右側に点検評価シートのページを示しています。

点検評価員の意見(外部評価員1)

| | |
|--|------|
| 子どもの接し方、子ども理解を学ぶ機会の促進 | P 9 |
| <p>ブックスタート事業は、コロナ禍の中、個別の読み聞かせ活動はできない場合もあったが、絵本を介して親子のふれあうきっかけを提供したとのことである。今後とも引き続き継続していただきたい。</p> <p>絵本のひろばは、コロナウイルス感染防止の観点から紙芝居作家の講演会をYouTubeで配信するなど、創意工夫して取り組んだことを評価します。絵本のひろばは、長く開催され、市民の認知度や評価の高い事業である。ボランティアや推進員の確保とその養成に取り組み、引き続き事業を推進していただきたい。</p> | |
| 地域における居場所づくりの推進 | P 10 |
| <p>地域学校協働活動推進事業は、学校と地域に趣旨が浸透し、ボランティアの登録も増えている。コーディネーターも6中学校区に配置し事業を実施している。今後とも、地域ボランティアの発掘と人材確保に努め、事業の更なる充実を図って下さい。</p> <p>放課後子ども教室は、放課後における子どもたちの安全で安心な居場所を地域ボランティアの協力のもと学校施設を活用し、地域の教育力を育むなど、その効果は高い取り組みである。また、ゆいまーる教室については、2小学校・3中学校で実施、基礎的な学習補助を行っているとのことである。引き続き、地域と連携の上、事業内容などの拡充を図り取り組んでいただきたい。</p> | |
| 糸満市青少年育成市民会議や糸満市学力向上推進協議会の活動推進 | P 11 |
| <p>少年の主張大会は、次代を担う中学生が日頃、考えていることをまとめ、多くの人の前で発表することは、学習意欲の向上と人材育成に繋がるものである。今回はコロナウイルス感染の関係で、市の大会は中止となったが県大会で本市の中学生が最優秀賞を受賞し、九州大会へ派遣されたことは素晴らしい限りである。</p> <p>青少年深夜はいかい防止県民一斉行動等の市民総決起大会も、コロナ禍により中止となったが、同大会は、多くの市民や関係団体が参加し、市民みんなで青少年を見守る機運の醸成ができるなど、青少年の健全育成に大きく寄与する大会である。次回は、是非、開催していただきたい。</p> | |
| 青少年・社会教育団体の交流推進及び活動支援 | P 13 |
| <p>地域の活性化を図るには、女性会や青年会、子ども会等の役割は大きなものがある。それらの社会教育団体を支援することは、地域の教育力の向上と次代を担う人材育成に繋がるものと考えられる。いずれの団体においても会員の減少や役員のなり手が少ないなど組織的課題がある。その課題解消について、関係団体と連携を図り取り組んでいただきたい。今年度は、コロナ禍により予定していた事業が一部中止となったが、可能な限り実施したことは評価したい。</p> <p>青少年交流事業(都農町・網走市・厚木市)は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。コロナ禍が落ち着いたら事業を再開していただきたい。</p> | |

コロナウイルス感染防止対策のため、臨時休館や入館制限などを行ったことにより、図書の貸出数がかなり低下した。図書館の蔵書総数が増えていることは評価したい。令和2年10月より窓口業務を民間委託したとのことである。委託効果は司書の人材確保と安定雇用により優秀な司書が集まり、レファレンスサービスの充実強化が図られたとのことである。民間委託の効果は今後とも検証していただきたい。

若年層の利用を促すため、TwitterなどSNSによる図書館の情報発信を積極的に行っていることや電子書籍導入への取り組みは評価したい。

経済的な理由から就学が困難な優秀な学生等に対し、奨学金の貸付や岩崎奨学金の給付を行うことは、次代の糸満市を担う人材の育成に繋がるもので有意な事業である。岩崎奨学金の給付については、平成30年度から令和4年度まで12万円ずつ増額し120万円とするとのことである。財政状況が厳しい中での増額、大きく評価したい。また、奨学金貸与事業は、貸与者からの償還金を財源としているので、収納率を高める必要がある。貸与者の就業状況等を調査し、分割返済など適切な対応を図っていただきたい。

糸満市スポーツ健康都市宣言の趣旨に基づき、すべての市民の健康・体力づくりを推進するため、各種運動教室開催やスポーツイベント・大会などを行い、多くの市民がスポーツに親しむ機運を高めることは有意なことである。しかしながら、令和2年度は多くの事業がコロナ禍により中止となった。その中でオンラインイベントとして、オクトーバーラン&ウォークを開催したことは評価したい。現在、コロナの状況も落ち着きつつあり、感染状況を見極めながら、できることから各種事業に取り組んでいただきたい。

いとまん平和トリムマラソンは、第2回大会が中止となり、第3回大会は次年度へ延期となった。多くの市民が楽しみにしているトリムマラソンである。コロナ禍が落ち着き、早期に開催できることに期待したい。

市民の健康・体力づくりを推進することを目的に市内小中学校の体育館や運動場を開放することは、多くの市民が利用し生涯スポーツの普及振興に大きく寄与している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により使用制限があったため、体育館等の市民利用が減り、使用料収入が大幅に落ち込んだことは、やむを得ない状況である。

市の競技スポーツを統括するNPO法人体育協会を支援することにより、各種競技の開催及び競技力向上対策は、競技団体の強化やジュニアの育成に繋がることから、更なる組織運営の基盤強化と競技スポーツの振興発展に引き続き取り組んでいただきたい。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により殆どの事業が実施できなかったとのことである。

次年度は、コロナ禍が落ち着き、各種事業ができることに期待したい。

点検評価員の意見(外部評価員2)

| | |
|--|------|
| 適応指導教室設置事業 | P 15 |
| <p>適応指導教室「とびうお学級」の学級経営が順調に行われていることは主任教諭の献身的な働きに負うところが大きい。補助担当者と協力して多くの児童生徒を学校復帰や高校進学へつなげたことは賞賛に値する。課題として上げられている「発達障害を持つ児童生徒の受け入れ及びその対応のためのスタッフの確保」は急務であるとともに糸満市内にある発達障害の関連する施設との連携も必要である。</p> <p>ところで、市全体の児童生徒千人当たり不登校児童生徒数を評価の指標に加えたらどうだろうか。全体的な不登校の出現率も気になる。</p> | |
| 障害児ヘルパー派遣事業 | P 16 |
| <p>学校のニーズに応えようと教育委員会が頑張っていることがうかがえ、令和2年度は前年度に比べて5名増員したことは評価できる。ヘルパー(特別支援教育支援員)は、担任教師等と連携のうえ、日常生活上の介助、発達障害等の幼児児童生徒に対する学習支援、幼児児童生徒の健康・安全確保、周囲の幼児児童生徒の障害理解促進等を行う趣旨で配置されており、発達や障害全般に関する知識理解を有する者の配置できることが重要である。</p> <p>また、児童心理治療施設に児童精神科の診療所を併設し外来機能を充実させ3ヶ月待ち診療を解消するとともに子どもの心のケアセンター的役割を担っていただくよう沖縄県へ働きかけてほしい。(例えば、子どもの精神医療に特化した総合的な県立拠点病院や福祉大学・福祉専門学校、沖縄県高等専門学校等平和の発信拠点にふさわしい未来につながる施設の観光農園跡地への誘致)</p> | |
| 幼稚園支援事業 | P 17 |
| <p>幼児教育を充実させるために予算をかけることが最も費用対効果の高い施策だと言われている。公立こども園(5園)のみならず法人子ども園(12園)及び法人(12保育園)を含めた幼児教育を充実させるため平成25年度から継続して担当指導主事やアドバイザーを配置していることは高く評価する。子ども園や保育所の管轄が福祉部に移行した後も幼児教育の中身に関することは教育委員会がしっかりと関与し、幼児期の終わりまで育てて欲しい10の姿を保育こども園課と連携して育てていただきたい。</p> | |
| 確かな学力を育むサポート事業 | P 18 |
| <p>「確かな学力」を身につけさせるために学習指導等支援員を22名も配置できていることは評価する。その効果が全国学力学習状況調査に現れているかどうか成果指標として示したらどうだろうか。また、学習支援のみならず生活の自立に向けても支援できることは学校の実情にあっている。県全体として臨時教職員不足があり人材を確保するのに難しい中で全校に配置できていることは素晴らしい。</p> | |
| 英語指導事業 | P 19 |
| <p>小学校では外国語活動が必須となっており、国際理解教育の推進のためAETの増員は必要であり、さらなる拡充を希望する。</p> | |

国が進めるGIGAスクール環境整備に向けて急ピッチに事業を推進したことは素晴らしい。ICTを活用した授業はわかりやすいと答えた児童生徒が90.5%、授業内容が広がったと答えた教師が94.2%もあり、成果が出ていると評価する。整備することによって教師の負担が増えることがないよう個々の教師へ支援を行うため情報教育支援員の増員を希望する。

老朽化した危険校舎の改築を計画的に進めていることは素晴らしい。バリアフリー化と防災機能を備えた米須小学校の改築は地域の防災拠点として役割も大きい。
今後、高嶺小学校の校舎改築に向けては小中一貫教育校の特色が生かせるような学校施設整備をしていただきたい。

沖縄県にとって暑さ対策は、児童生徒や教職員の健康面や学習環境の向上を図る上で重要である。児童生徒の健康を最優先に継続的な施策を期待する。

昨今の児童生徒の食習慣の乱れは大きな課題となっている。全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙によれば、朝食を見日食べている小学校児童は令和元年度と3年度の比較において本市(82.9%、83.3%)全国(86.7%、85.8%)中学生は本市(78.3%、86.7%)全国(82.3%、81.8%)となっており、中学校においては大きな改善が見られる。栄養士が学校へ出向いて食育指導を行うことはとても有効であるとともに地域全体としての食育は重要である。今後とも学校現場と連携した取り組みを行っていただきたい。

点検評価員の意見(外部評価員3)

自治公民館連携推進事業

P 12

コロナ禍で人々の生活が以前とは違う現在だからこそ、人との繋がり、地域との連携が必要。
市民が気軽に参加できると共に、生活意識、心の豊かさを向上させる講座を開催する。その為には講師等の人財、興味深い講座の情報収集が重要になると思う。

南山城跡等保存調査事業

P 26

城跡等の発掘や復元に関しては専門的知識を有する人材の確保が重要と思われる。又、出土品の調査、整理作業等を行い、歴史的価値がある品々の展示スペースの確保もお願いしたい。

「村落資料」編集事業

P 27

「市史」の発行までの資料収集や編集作業はとても大変なことであり、その刊行は関係者にとっては待ち望まれることである。その点からも多くの市民にどのような形式、方法で「市史」の発行を知ってもらい活用してもらうことが出来るのかを考える必要がある。

「字誌等への編集支援」については、編集支援としてその作業の効率性を高めるためには専門委員の増員や事務局体制の強化にあると考えられる。それに伴い予算の確保も必要である。

なかゆくいロビーコンサート事業

P 28

とても良い企画だと思う。普段あまり接することのないクラシック音楽を間近で見たり聞いたりすることで、音楽に親しむ機会が提供できる。市役所ロビーだけではなく、学校への「おでかけ、なかゆくいロビーコンサート」も回数を増やし、子ども達にも楽しんでもらいたい。

糸満市の教育の目標

平成23年6月22日

糸満市教育委員会制定

糸満市は、国・県の教育の目標、本市の基本理念及び将来像に基づき、郷里の自然や文化に誇りを持ち、人間性豊かで創造性・国際性に富む人材の育成と、健康で人々がつながりあい豊かな人生を送るために生涯学習の進展を期して、次のことを目標に施策を推進していく。

【幼児児童生徒像】

幼児児童生徒一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を養い、自ら学び、自ら考え、行動できるなど「生きる力」の育成を図る。

【市民像】

「ひかりのまち」「みどりのまち」「いのりのまち」を希求し、自然の保全・郷土文化の継承・発展に寄与し、進取の気象に富み、国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健康な市民を育成する。

【社会像】

家庭・学校・地域社会の役割を明確にし、人々のつながりのある相互連携のもと、高い公共性・倫理性を有し、時代の変化に対応し得る生涯学習の振興を図る。

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

報告書

(令和2年度事業)

発行：令和3年12月

糸満市教育委員会 総務部 総務課

糸満市潮崎町1丁目1番地

TEL：098-840-8160 FAX：098-840-8161

糸満市ホームページ <http://www.city.itoman.lg.jp/>
